



いなほ

稲積神社社報

第38号

平成25年 新年号



三葉の松
 全国でも珍しく神聖な木として崇められている。幹の姿、彫の深い樹皮の亀甲の模様は気品と風格が感じられる。
 その姿から「夫婦和楽 家内安全」を象徴している。又松葉は黄金色になって落葉するので「金運」のご利益がある。別名「金錢松」ともいわれている。

謹賀新年

宮司 権禰宜

責任役員

総代顧問
総代

崇敬会代表世話人

外郭団体

- 甲府伊勢講講元 川崎 久弥
- 崇敬青年会会長 大澤 慶一
- ソフトボール部監督 大嶋 研一
- 稲積睡会会長 長瀬 英規
- 敬神婦人会会長 丹澤 起恵子
- 崇敬会友の会会長 大森 久良
- いなほ会会長 佐藤 康太郎
- 和会会長 山井 康太郎
- いなづみ会会長 市村 竜太郎

- 宮内 陸武
- 塩田 清
- 飯島 博
- 宮室 武
- 丹澤 武
- 齋藤 正
- 小泉 武
- 有名 武
- 志取 昭
- 伊藤 実
- 河野 之
- 保田 昌
- 神戸 佳
- 神津 康
- 根原 東
- 篠原 正
- 土肥 宮
- 根津 泰
- 根津 昇

平成二十四年正ノ木祭を振り返って

権禰宜 根津 佳明

「十日市中止の危機」。今年の念頭に新聞の見出しを賑わせた記事である。昨年施行された「暴力団排除条例」により各地のお祭りや露天商が姿を消していった。しかし、各地の実行委員会の努力により新しい形で賑わいを作りお祭りを成功させていった例もある。稲積神社でも例年の正ノ木祭を成功させるべく昨年十月より計画を練っていた。最新の記事で当惑してしまつた。

昨年十月、宮司より「正ノ木祭を来年成功させるべく動くように」との指示を与えられた。当時は露天商のことを何も知らなく困惑しながらも警察や公園緑地課との話し合い、出店規約・申込書などを作ることから始めてみた。模範店を抱えるハッピーカンパニーの金山さんやキッチンワールドの中馬さんとの



出合いもあり比較的順調にことは進んでいった。しかし、今年に入り警察より、正ノ木祭の縮小や出店許可証発行の厳重化や管理運営の厳密化など開催を自粛しなければならぬという面が折出された。その折出された記事が我々を震撼させた文頭のそれである。

しかし、ここで挫けるわけにはいかないと、宮司・総代を筆頭に警察との折衝が始まった。また合わせて例年より早く正ノ木祭実行委員会を開催し、今年の方角性を周知し、理解を得て結束力を高めた。その後は開催に向けて毎日、交渉と打合せを行い、事務処理に暮れていく日々を送った。初めてのことはばかりで正ノ木祭前日まででんやわんやであった。何とか開催まで漕ぎ着けたと言つのが本音である。

実際、五日の成就祭を迎えるまで走り回っていたような覚えがある。思い起こせば「交通規制の縮小」「模範店集めの苦勞」「外郭団体による模範店」「えびす会山車使用」「駐車場を警備会社へ依頼」「夜遅くまで作業にあたる昌電社や高山電設」「金山親子泊まり込み奉仕」など、様々な出来事があったことが思い返される。

何はともあれ、この度の正ノ木祭が成功したのも総代を始め外郭団体や崇敬者、近隣の方々のご理解ご協力の賜と

新旧の名所を訪ねて… 甲府伊勢講の旅

講元 川崎 久弥



心より篤く感謝しております。平成二十五年正ノ木祭をさらに成功させるべくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。末のご挨拶とさせていただきます。

甲府伊勢講の旅行は今回四十七回となりました。この多年の実績はこの度の旅行に参加下さった方々をはじめ、多くの先輩先人達の稲積神社への崇敬の念からの賜物であります。今回は「東京スカイツリーの展望と大洗磯前神社笠間稲荷神社参拝の旅」をスケジュールといたしました。昨年三・一一の東北震災の復興に少しでも寄与すべく北

関東方面に決めさせていたいただきました。心配した台風の影響も一日目は免れ二日目は雨にみまわれましたが大した事はなく皆様のご協力により順調に終了することができました。先ず最初に訪れたのは誕生して半年の「東京スカイツリー」さすが世界一の電波塔、四五〇米からの見晴は見事でした。この建物の設計者が山梨県出身者と聞いており誇り

に思いました。第一ホテルでの昼食を済ませバスに揺られて一路北茨城へ、大洗磯前神社で正式参拝、当神社の御創建は斉衡三年（八五六）といわれ由緒ある神社であります。泊りの宿は神社の隣り、海岸べりの「大洗ホテル」、大震災では大津波でホテルの一階は腰上まで海水に見舞われ大被害を被つたそうです。宴席は例年通り大いに飲んで語り歌つて絆を深めました。翌日は残念ながら台風の影響で雨となりましたが予定通り「国営ひたち海浜公園」を訪れました。みはらしの丘の真赤なコリア（箒草）の素晴らしい景色を満喫しました。最後の訪問は日本三大稲荷の一つである笠間稲荷神社の正式参拝を行いました。評判通りの大きな神社で広く人々に親しまれ、年間三百万余りの人々が参拝に訪れるお稲荷さんだそうです。丁度菊祭りが開かれており見事の菊が観賞できました。

扱四十八回を迎える来年の甲府伊勢講の旅行は伊勢神宮式年遷宮の参拝をメインテーマとしております。是非大勢のご参加を期待いたします。

平成二十四年清掃奉仕・関係者納会開催

平成二十四年十二月二日神社関係者と伊勢スポーツ少年団の親子がご参加戴き、総勢八十人程で十時より清掃奉仕がおこなわれました。今は環境問題もあり、たき火ができませんが、この時だけは落ち葉で焼き芋をし、子供達が美味しく頂いています。こんな風情がある光景が珍しいのは、何か淋しい思いがしてなりません。夕刻より場所をアピオに移し、関係者納会が百二十人の参加者で開催されました。開始儀礼の後、一年間の積もる会話で懇親を大いに深めました。お楽しみはビンゴで沢山の景品を分かち合いました。景品を協賛された、ひしわ園様、太冠酒造様、割烹友四朗様には厚く御礼申し上げます。平成二十五年が皆様により良い年であります事をご祈念申し上げ報告と致します。

出雲大社特立百三十年祭に参列して

崇敬会友の会 藤 巻 秀 樹

毎日猛暑の続く八月六〜八日の三日間、根津宮司・丹沢氏・武田氏・小野氏と五名で出雲の国を訪問してきました。大國主大神、だいきくさまをおまつりしている出雲大社に到着し、「特立百三十年祈りを継ぐ・帰一大祭」に全国各地から参集した千名以上の参列者と共に出雲大社神楽殿に参列しました。

特立百三十年祭は、明治十五年に第八十代出雲國造・出雲大社宮司、千家尊福公が「大

静寂の中、鈴の音が響きわたり何ともいえず心にしみるひとときでした。

また、平成二十五年五月十日には、出雲大社御遷宮が実施されます。「天下無双」と称えられた本殿の覆っていた素屋根解体工事も七月に無事終了し、新しい檜皮によって吹き替えられた御本殿大屋根も見る事ができ、改めてご本殿のスケールの大きさに驚嘆しました。

出雲大社の近くに、「しんわ傳島根」も開催されており、出雲の国の歴史・文化・神話に触れることができ、楽しい充実した旅でした。再訪の機会を楽しみにしています。



境内社例祭 齋行される



☆瘡子社 七月十五日齋行
ご祭神は少彦名命・大日貴命。ご神徳は医薬・病氣平癒。横に湧き出ているご神水は健康運にも良く、お水取りの日には、関東近県を始め関西方面からも詣でる人で賑わいます。

☆金刀比羅神社 十月八日 齋行
ご祭神は大物主大神。ご神徳は農土商の産業振興、漁業繁栄。旧魚市場の関係者より崇敬されています。

現社殿も魚市場で祀られていたものを移築されたと伝えられています。

月	日	祭典名
一月	一日	新年祈願祭(随時)
二月	三日	針節
二月	八日	初供養
二月	九日	祈年祭
二月	十七日	恵方詣りの祭
二月	十七日	猿田彦社例祭
二月	二十三日	甲子社例祭
二月	二十七日	天満神社例祭
三月	二十六日	熊野社例祭
五月	二月	献木祭
五月	二日	正ノ木祭前夜祭
五月	三日	正ノ木祭例大祭
五月	四日	正ノ木祭二ノ祭
五月	五日	正ノ木祭三ノ祭
六月	二日	お田植祭
六月	三十日	夏越大被満灯祭



運 勢

宮司 根津 泰昇



平成二十五年 癸巳・五黄土星

癸巳は臥蛇と云い、別名寝蛇とも云う。寝ている蛇という... 今年に変化を起こさず保守保全に徹して吉の年。

五黄土星は動かずにおれば、降生強大を誇示出来る。しかし変化を起こすと悪化作用が働くので注意。

☆一白水星(衰退期の衰退運)

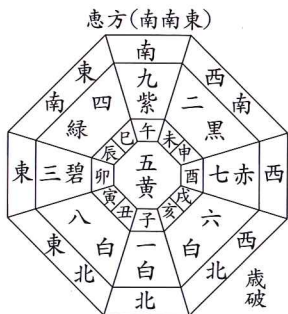
諸事がスムーズに進まず、心労多く、悩み事が絶えない。経済的にも思うように進まず、病難、災難に注意、冬籠りの年ですので平穩に生活して下さい。

○昭和二十年生 六十八歳

精神的な悲嘆や気迷い、又経済的苦勞が多い。天恵も薄く病災の兆候もあります。平穩不動の精神で過すこと。

○昭和二十九年生 五十九歳 冬こもりの精神で諸事遵守し、

ラッキー色 黄色



平成二十五年方位吉凶図

次の星の人は「方災除」「庄気興隆」「開運」の祈願を受け、災難除の御神徳をお授かり下さい。凶方位に新築、増築、改築、開店、進出、遠方旅行、移転行為をする人、歳退運の五黄土星の星の人、衰退運の一白水星の星の人、変動運の五黄土星の星の人

Table with columns: 星 (Star), 誕生年 (Birth Year), 吉方位 (Auspicious Direction). Lists stars like 一白水星, 五黄土星, 二黒土星, etc., with their birth years and corresponding directions.

※平成二十五年の誕生日を迎えるの満年齢です。

自我心を強く出さず、自分をみがいて将来あり。吉方 東・東南・西。凶方 西北・北・南。諸事見送り。黒土星(盛運期の順調運) 華やかさはないが平穩な年。諸事に努力し向き合えば、将来の土台造りになります。自分を見がき築くにはよい年ですが前平は諸事に注意が必要。昭和十九年生 六十九歳。晩生運の基礎造りには良い年。積み重ねてきた経験を生かし、生活設計を立てると繁栄安泰が得られます。昭和二十八年生 六十歳。男性は厄年です。厄除祈願をお受け下さい。生活を振り取り進むべきこと。

とは進め、見直すべきことは訂正することが必要。自我心を表面に出さず、謙虚にして吉。昭和三十三年生 五十一歳。諸事が長引き、はかどらない年です。金運があってもくだらない事柄で失う事がありますので注意。昭和四十六年生 四十二歳。男性は本厄の後厄です。厄除祈願をお受け下さい。温順に順調に進み、衣食住の豊厚に恵まれる年です。積極的に物事を進めるには力不足もあります。昭和五十五年生 三十三歳。女性の本厄の後厄です。厄除祈願をお受け下さい。身分相応な生活設計を立て、無理しない行動をとるなら良好な結果が出来ます。平成元年生 二十四歳。精神も大盛になり、活躍基盤を築く年です。軽率な行動を慎みて吉。結婚には良い年。吉方 西北・西南・東北。凶方 東北・西南。事象 建築・開店・移転。吉。三碧木星(盛運期の向上運) 諸事に決断ができ、新たな事を始めても発展進展がある。気持ちの前向きにし、活動的な生活を送つてもよし。しかし軽はずみの行動を取ると逆転もあるので注意。昭和十八年生 七十歳。運勢の満願を迎える年になります。心がけたい事は自我心が強く表れ易い年で離れ、分離がありますので私生活に注意。昭和二十七年生 六十一歳。晩年運の基礎造りの年です。そのために努力を積み重ね、新たな人生造りに励む年。投資事には手を出さないこと。昭和三十三年生 五十二歳。新事に興味を感じ、計画、実行するには良い年で衣食住に恵まれ、喜び事の多年。酒席も多いので健康管理をしつかり。昭和四十五年生 四十三歳。厄も抜けて新事に積極的に活動して良い年ですが、石橋をたたくて歩みましよう。油断したり、気位を高くすると、スムーズに進む事も進みません。昭和五十四年生 三十四歳。諸事に恵まれる年です。一層の努力をして下さい。怠ると反対効果が強く出ます。健康管理をして下さい。昭和六十二年生 二十五歳。精神的に充実し発展出来る年。信用も得、社会に貢献する年。良縁にも恵まれます。吉方 東南・南・北。凶方 西北・東・西。事象 建築・開店・移転。吉。四緑木星(盛運期の盛運) 諸事の目的を完成させるには良い年。努力を惜しまず地道に歩めば諸事整い盛大を極めます。又先十年の運命を左右させる年です。大いに努力して手中に納めることです。昭和二十六年生 六十二歳。生活面、精神面も安定し、諸事に恵まれる年です。将来の生活設計を立てるには最高の年です。昭和三十五年生 五十三歳。社会的信用も得、交際も広

くなり、東奔西走の活躍が期待出来る年。しかし、生活が順調に歩むので気位が高くならぬ様に注意も必要。

○昭和四十四年生 四十四歳

相手方から好い話を持ち込まれる事が多い年ですが慎重に吟味しないと破滅や失敗の原因となるので注意。

○昭和五十三年生 三十五歳

努力してきた諸事が完成し、発展する年です。大いに飛躍して下さい。精神的にも安定する年ですので、良き事のご神縁もあります。又良縁にも恵まれる年です。

○昭和六十二年生 二十六歳

諸事が順調に進み、名声を持つる功もあるが、強情を通すと非難反対を受けることになるので注意も必要。

○吉方 東・南・北

○凶方 西北・東南

○諸事 建築・開店・移転 吉

☆五黄土星(平運期の注意)

八方塞りの年です。保守保全に努める年。動かすにいは降盛を誇示できる。精神状態の安定を保つよう気づかすこと。神社に月参りをしましょう。

○昭和二十五年生 六十三歳

不安定な精神状態になりがちです。自己過信、自意識過剰が誤解、非謗を招きます。平穏安静に努力すべきです。

○昭和三十四年生 五十四歳

一大飛躍を計りたくなる年で、我欲から高望みする傾向にあります。今まで築きあげてきた諸事が無駄になりますので、足元をしっかりと見つけること。

○昭和四十三年生 四十五歳

変動を起さず保守保全に努めて、生活精神が安定され繁栄にと繋がります。酒席には注意。

○昭和五十二年生 三十六歳

諸事に強情を通すと、非難反対を受けることになる。変動を起すと病災難もあるので用心。

○昭和六十一年生 二十七歳

保守保全に努めて、目上の引き立があり、信用も得られる。

○平成七年生 十八歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。

人生最初の厄年です。人徳神縁が薄く、災難運もあり。平静、不動の心構えを大切に。

○吉方 南・西南・西

○凶方 西北

○諸事見送り

☆六白金星(平運期の注意)

諸事に努力することにより目的達成が叶う年。将来を見据えての設計をたてることにより地固めが出来る。

歳破(他動的に強い凶作用で内部破壊作用が強い)星除祈願わかえ信仰を受け月参りをしましょう。

○昭和二十四年生 六十四歳

諸事の結実完成を目指し努力する年。警戒や慎重を怠ると失敗の原因となります。又軽率な行動も慎むこと。

○昭和三十三年生 五十五歳

将来のために尊厳と威信と家の城塞を築き上げられる年。酒色には注意。

○昭和四十二年生 四十六歳

目上の引き立てもあり、地位や経済力を得易い年ですが努力も必要になります。強情を通すと非難を受け障害を招きます。病難に注意。

○昭和五十一年生 三十七歳

精神が安定しており目上の引立てもあり富貴繁栄します。反面別離や不和事を招く恐れもありますので言動を慎重に。

○昭和六十年生 二十八歳

諸事を成功させるには支出も体力の消耗もあります。神縁も薄く災難の相があります。平静不動な心構えが肝要です。

○平成六年生 十九歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。

厄も除け、知恵聡明になり、学問、文芸に向上をみる年。

○吉方 西南・西・北・東北

○凶方 西北・東南

○諸事 前半は諸事見送り

☆七赤金星(平運期の順調運)

喜び事が多い年ではあるが、経済面に難があるので、家族旅行、購入事には熟慮断行が必要。

○昭和二十三年生 六十五歳

精神に安定があり、今後の生活の準備態勢を整えるにはよい年です。酒席も多い年です。健康面に注意。

○昭和三十一年生 五十六歳

諸事に挫折感を持ち迷う事が多い年なので、積極策より退避策を取って吉、子供の悩み、病災に用心。

○昭和四十一年生 四十七歳

経済の発展もあり、社会でも名譽、信用も得、自らも精神順順になり、富貴繁栄を得る年。

○昭和五十年生 三十八歳

経済面で順調に回っていきますが、考え方、使い方を慎重にしないと失敗しますので注意。

○昭和五十九年生 二十九歳

神社への月参りして自分の向上発展の先天運の年。節制して金運もよし。結婚運もよい。懐妊すれば良児を得る暗示がある。

○吉方 西南・北・東北

○凶方 西北・西・東

○諸事 建築・開店・移転 吉

☆八白土星(衰退期の注意)

諸事に行き詰まりが生じ、迷い事が生じる。変化を求め新たな行動を実行するもスムーズに進まない。物事を慎重にすること。

○昭和二十二年生 六十六歳

世相を熟慮し、後進に道を譲ることを考えるにはよい年。縁者や知人と問題事が生じ易い年。病難に注意。

○昭和三十一年生 五十七歳

将来の保証をつけるような諸事に進めば、富貴繁栄な年。

○昭和四十一年生 四十八歳

諸事に行き詰まり孤立現象が生じ、障害がたちはだかつて来るので軽率な行動は慎むこと。

○昭和四十九年生 三十九歳

諸事に積極策より消極策を選ぶことにより、生活安定があり財運もよい年。

○昭和五十八年生 三十歳

諸事がスムーズに進まない

事多し。気持ちを改めて慎重に行動し、再出発を図るもよいこと。

○吉方 南・西

○凶方 西北・東北・西南

○諸事 諸事前半注意

☆九紫火星(衰退期の順調運)

諸事に表裏が多い年。たとえば対人的に相集ることがあれば相別れる事も多い。諸事を早急に処理することが大切。

○昭和二十一年生 六十七歳

惜しまぬ努力をしてきたなら名譽徳望を得る。今後の生活の基盤作りに努めること。

○昭和三十三年生 五十八歳

悪い事象が強く表れ、内密の事柄が表面化する年。大禍ない事柄も最後には災を被る。病災に注意。

○昭和三十九年生 四十九歳

今までの努力が実り、仁徳を称賛されたり、無病息災で繁栄のある反面家族の事で悩みが生じるので注意。

○昭和四十八年生 四十歳

男性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。

自我心を強く出すと、離反や不名譽を受けるので注意。

○昭和五十七年生 三十一歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。

子供の事で悩み事が多い。金運にも見はなされるので諸事がスムーズに進まないのので用心が必要。

○吉方 東・東南・西南・東北

○凶方 西北・南・北

○諸事 後半諸事見送り

○昭和五十年生 三十八歳

経済面で順調に回っていきますが、考え方、使い方を慎重にしないと失敗しますので注意。

○昭和五十九年生 二十九歳

神社への月参りして自分の向上発展の先天運の年。節制して金運もよし。結婚運もよい。懐妊すれば良児を得る暗示がある。

○吉方 西南・北・東北

○凶方 西北・西・東

○諸事 建築・開店・移転 吉

☆八白土星(衰退期の注意)

諸事に行き詰まりが生じ、迷い事が生じる。変化を求め新たな行動を実行するもスムーズに進まない。物事を慎重にすること。

○昭和二十二年生 六十六歳

世相を熟慮し、後進に道を譲ることを考えるにはよい年。縁者や知人と問題事が生じ易い年。病難に注意。

○昭和三十一年生 五十七歳

将来の保証をつけるような諸事に進めば、富貴繁栄な年。

○昭和四十一年生 四十八歳

諸事に行き詰まり孤立現象が生じ、障害がたちはだかつて来るので軽率な行動は慎むこと。

○昭和四十九年生 三十九歳

諸事に積極策より消極策を選ぶことにより、生活安定があり財運もよい年。

○昭和五十八年生 三十歳

諸事がスムーズに進まない

○昭和五十年生 三十八歳

経済面で順調に回っていきますが、考え方、使い方を慎重にしないと失敗しますので注意。

○昭和五十九年生 二十九歳

神社への月参りして自分の向上発展の先天運の年。節制して金運もよし。結婚運もよい。懐妊すれば良児を得る暗示がある。

○吉方 西南・北・東北

○凶方 西北・西・東

○諸事 建築・開店・移転 吉

☆八白土星(衰退期の注意)

諸事に行き詰まりが生じ、迷い事が生じる。変化を求め新たな行動を実行するもスムーズに進まない。物事を慎重にすること。

○昭和二十二年生 六十六歳

世相を熟慮し、後進に道を譲ることを考えるにはよい年。縁者や知人と問題事が生じ易い年。病難に注意。

○昭和三十一年生 五十七歳

将来の保証をつけるような諸事に進めば、富貴繁栄な年。

○昭和四十一年生 四十八歳

諸事に行き詰まり孤立現象が生じ、障害がたちはだかつて来るので軽率な行動は慎むこと。

○昭和四十九年生 三十九歳

諸事に積極策より消極策を選ぶことにより、生活安定があり財運もよい年。

○昭和五十八年生 三十歳

諸事がスムーズに進まない

○昭和五十年生 三十八歳

経済面で順調に回っていきますが、考え方、使い方を慎重にしないと失敗しますので注意。

○昭和五十九年生 二十九歳

神社への月参りして自分の向上発展の先天運の年。節制して金運もよし。結婚運もよい。懐妊すれば良児を得る暗示がある。

○吉方 西南・北・東北

○凶方 西北・西・東

○諸事 建築・開店・移転 吉

☆八白土星(衰退期の注意)

諸事に行き詰まりが生じ、迷い事が生じる。変化を求め新たな行動を実行するもスムーズに進まない。物事を慎重にすること。

○昭和二十二年生 六十六歳

世相を熟慮し、後進に道を譲ることを考えるにはよい年。縁者や知人と問題事が生じ易い年。病難に注意。

○昭和三十一年生 五十七歳

将来の保証をつけるような諸事に進めば、富貴繁栄な年。

○昭和四十一年生 四十八歳

諸事に行き詰まり孤立現象が生じ、障害がたちはだかつて来るので軽率な行動は慎むこと。

○昭和四十九年生 三十九歳

諸事に積極策より消極策を選ぶことにより、生活安定があり財運もよい年。

○昭和五十八年生 三十歳

諸事がスムーズに進まない

○昭和五十年生 三十八歳

経済面で順調に回っていきますが、考え方、使い方を慎重にしないと失敗しますので注意。

○昭和五十九年生 二十九歳

神社への月参りして自分の向上発展の先天運の年。節制して金運もよし。結婚運もよい。懐妊すれば良児を得る暗示がある。

○吉方 西南・北・東北

○凶方 西北・西・東

○諸事 建築・開店・移転 吉

☆八白土星(衰退期の注意)

諸事に行き詰まりが生じ、迷い事が生じる。変化を求め新たな行動を実行するもスムーズに進まない。物事を慎重にすること。

○昭和二十二年生 六十六歳

世相を熟慮し、後進に道を譲ることを考えるにはよい年。縁者や知人と問題事が生じ易い年。病難に注意。

○昭和三十一年生 五十七歳

将来の保証をつけるような諸事に進めば、富貴繁栄な年。

○昭和四十一年生 四十八歳

諸事に行き詰まり孤立現象が生じ、障害がたちはだかつて来るので軽率な行動は慎むこと。

○昭和四十九年生 三十九歳

諸事に積極策より消極策を選ぶことにより、生活安定があり財運もよい年。

○昭和五十八年生 三十歳

諸事がスムーズに進まない

○昭和五十年生 三十八歳

経済面で順調に回っていきますが、考え方、使い方を慎重にしないと失敗しますので注意。

○昭和五十九年生 二十九歳

神社への月参りして自分の向上発展の先天運の年。節制して金運もよし。結婚運もよい。懐妊すれば良児を得る暗示がある。

○吉方 西南・北・東北

○凶方 西北・西・東

○諸事 建築・開店・移転 吉

☆八白土星(衰退期の注意)

諸事に行き詰まりが生じ、迷い事が生じる。変化を求め新たな行動を実行するもスムーズに進まない。物事を慎重にすること。

○昭和二十二年生 六十六歳

世相を熟慮し、後進に道を譲ることを考えるにはよい年。縁者や知人と問題事が生じ易い年。病難に注意。

○昭和三十一年生 五十七歳

将来の保証をつけるような諸事に進めば、富貴繁栄な年。

○昭和四十一年生 四十八歳

諸事に行き詰まり孤立現象が生じ、障害がたちはだかつて来るので軽率な行動は慎むこと。

○昭和四十九年生 三十九歳

諸事に積極策より消極策を選ぶことにより、生活安定があり財運もよい年。

○昭和五十八年生 三十歳

諸事がスムーズに進まない

○昭和五十年生 三十八歳

経済面で順調に回っていきますが、考え方、使い方を慎重にしないと失敗しますので注意。

○昭和五十九年生 二十九歳

神社への月参りして自分の向上発展の先天運の年。節制して金運もよし。結婚運もよい。懐妊すれば良児を得る暗示がある。

○吉方 西南・北・東北

○凶方 西北・西・東

○諸事 建築・開店・移転 吉

☆八白土星(衰退期の注意)

諸事に行き詰まりが生じ、迷い事が生じる。変化を求め新たな行動を実行するもスムーズに進まない。物事を慎重にすること。

○昭和二十二年生 六十六歳

世相を熟慮し、後進に道を譲ることを考えるにはよい年。縁者や知人と問題事が生じ易い年。病難に注意。

○昭和三十一年生 五十七歳

将来の保証をつけるような諸事に進めば、富貴繁栄な年。

○昭和四十一年生 四十八歳

諸事に行き詰まり孤立現象が生じ、障害がたちはだかつて来るので軽率な行動は慎むこと。

○昭和四十九年生 三十九歳

諸事に積極策より消極策を選ぶことにより、生活安定があり財運もよい年。

○昭和五十八年生 三十歳

諸事がスムーズに進まない

○昭和五十年生 三十八歳

経済面で順調に回っていきますが、考え方、使い方を慎重にしないと失敗しますので注意。

○昭和五十九年生 二十九歳

神社への月参りして自分の向上発展の先天運の年。節制して金運もよし。結婚運もよい。懐妊すれば良児を得る暗示がある。

○吉方 西南・北・東北

○凶方 西北・西・東

○諸事 建築・開店・移転 吉

☆八白土星(衰退期の注意)

諸事に行き詰まりが生じ、迷い事が生じる。変化を求め新たな行動を実行するもスムーズに進まない。物事を慎重にすること。

○昭和二十二年生 六十六歳

世相を熟慮し、後進に道を譲ることを考えるにはよい年。縁者や知人と問題事が生じ易い年。病難に注意。

○昭和三十一年生 五十七歳

将来の保証をつけるような諸事に進めば、富貴繁栄な年。

○昭和四十一年生 四十八歳

諸事に行き詰まり孤立現象が生じ、障害がたちはだかつて来るので軽率な行動は慎むこと。

○昭和四十九年生 三十九歳

諸事に積極策より消極策を選ぶことにより、生活安定があり財運もよい年。

○昭和五十八年生 三十歳

諸事がスムーズに進まない

○昭和五十年生 三十八歳

経済面で順調に回っていきますが、考え方、使い方を慎重にしないと失敗しますので注意。

○昭和五十九年生 二十九歳

神社への月参りして自分の向上発展の先天運の年。節制して金運もよし。結婚運もよい。懐妊すれば良児を得る暗示がある。

○吉方 西南・北・東北

○凶方 西北・西・東

○諸事 建築・開店・移転 吉

☆八白土星(衰退期の注意)

諸事に行き詰まりが生じ、迷い事が生じる。変化を求め新たな行動を実行するもスムーズに進まない。物事を慎重にすること。

○昭和二十二年生 六十六歳

世相を熟慮し、後進に道を譲ることを考えるにはよい年。縁者や知人と問題事が生じ易い年。病難に注意。

○昭和三十一年生 五十七歳

将来の保証をつけるような諸事に進めば、富貴繁栄な年。

○昭和四十一年生 四十八歳

諸事に行き詰まり孤立現象が生じ、障害がたちはだかつて来るので軽率な行動は慎むこと。

○昭和四十九年生 三十九歳

諸事に積極策より消極策を選ぶことにより、生活安定があり財運もよい年。

○昭和五十八年生 三十歳

諸事がスムーズに進まない

平成二十四年度崇敬会大会

権宣宜 土肥 東 宮



えた講演でした。週の中弛み
の出る水曜日・疲れの溜まる
金曜日・朝、夕に事故が多数
発生することや南甲府署管内
での発生状況を知らされました。
ドライバーは、大きく重
い車を動かしている緊張感を
常に持ち続け、交通事故とは
一瞬にして人生を狂わせてし
まうのだ、と改めて感じた講
演内容でした。

境内の神田に背丈のそろつた稲の穂が実った十五夜の九月三十日、台風が東日本に接近！と予測された中、平成二十四年度崇敬会大会が七十名程の崇敬会会員の皆様のご参加をいただき開催いたしました。

まず、神殿に於いて崇敬会大祭を厳肅に執り行われました。参集殿に席を移しての式典では、初めに代表世話人の宮川睦武会長様のご挨拶、次に根津宮司より挨拶。来賓の羽中田進庁長様よりご祝辞を頂戴いたしました。

講演会では、南甲府署交通課の河野課長様・宮川様にお越しいただき、スライドを交



講演終了後、小尾武責任役員様の乾杯のご発声により懇親会が始まりました。ご参加の皆様が和やかに美味しいお料理とご神酒を堪能され、笑顔溢れる会でした。最後に丹澤正臣総代顧問様の中締めに



て平成二十四年度崇敬会大会を盛大に終さめることができました。

思い起こせば、平成十六年崇敬会再興から九年、社頭で

氏青全国大会に参加して

崇敬青年会 長 潟 英 規

去る七月十五、十六日の日程で全国氏子青年協議会第五十回定期大会・宮城大会が全国より五百人余りが参加し、「未来に向ける和の心」をテーマに、く宮城につどえ、日本の力、美わしき郷土の復興を氏青の絆でくをスローガンにメイン会場松島ホテル大観荘にて開催されました。我々は前日に仙台に前泊し名物の牛タン・地酒・郷土料理に舌鼓し、繁華街国分町にて盛り

は日々宮司が会員の皆様の安泰をご祈願しておられます。ご自身の誕生日の月始祭には玉串奉典にて自らご祈願をしていただきたいと思います。
庁長様のご挨拶でおっしゃられた様に、大神様は崇敬者皆様の参拝が多くなり信仰者が増す程に、その御神威が増すと云われます。是非多くの崇敬会会員の皆様のご参拝されることを願っております。
心配された台風も一時の強い風のみで被害もなく、これも大神様の御力なのかなと感じた崇敬会大会の一日でした。



ものがありません。最終日は、石巻市へ震災の現状視察に行きました。震災直後の惨状はありますが瓦礫の山と雑草で海岸沿いは、全く手がついていませんでした。復興を願う全員で献花と黙祷を捧げて参りました。地元の方の話の中で、全校生徒百八人中七割に当たる七四人が死亡・行方不明となった石巻市立大川小学校の惨状は目頭と胸が熱くさせられました。被災地の方々は仕事、家を失い将来が見えない不安、一度に子供を失った親、一度に両親を失った子供の心の中は計り知ることは出来ません。今回の宮城大会はいろんな事を思い、自分自身何かを考えなければならぬと感じた旅でした。

敬神婦人会 一日参拝研修会開く

婦人部 秋山鶴子

連日の厳しい暑さの中、七月十七日稲積神社敬神婦人会一日参拝研修会に参加させて頂きました。その際いつもお忙しい宮司様をはじめ、小尾様、高島様の男性三名が参加して下さり心強く感謝致しました。県内研修で相互の親睦を深める為、楽しみながら参拝できる喜びで一杯でした。

た。昼食は建部神社の石原宮司様の奥様が営んでいらつしやる「うむどん ちくら」にて(栃木県の壬生うどん)をおいしく頂きました。

「正式参拝」海岸寺は北杜市須玉町。当寺の住職様は仏門にある人の悟りをそのまま清めたようなすばらしい御聖人様でした。これから私達が進むべき道の御指導をして下さったと思ひ一生懸命耳を傾け自分自身の過去を反省しながら勉強させて頂きました。最後に名物の清泉寮のソフトクリームを頂きながら今回の県内神社参拝研修会は今日参加して下さった皆様方の御協力を頂き会員相互の親睦を深める良い機会になりました。

「正式参拝」建部神社(旧指定村社)は北杜市高根町箕輪一三六四。住古は八幡宮祭神誉田別命を大坪区に鎮座した古社と云う。敷地内には町の人達が自由に使える建物があり、囲りには大木で夏はとて涼しく子供達の憩いの場として恵まれた環境で申し分ないと石原宮司様のお言葉でし

新穀感謝祭に参拝して

権禰宜 篠原康正

十一月十九日二十日と立冬を過ぎ初冬の早朝、県神社庁甲府支部の新穀感謝祭に、稲積神社から三十一名の方が参加されました。外宮・内宮と参拝してまいりましたが、

神宮は、第六十二回式年遷宮を翌年に控えて、平成十七年の「山口祭」(御造営にあたり御用材を伐採する時の祭儀)から今年の「蕨祭」(新殿の御屋根の萱を葺き終り葺覆などの金物を打つ祭儀)までずんだ新殿の一つである「四丈殿」(御正殿・東宝殿・西宝殿は覆があり見る事はできませんでしたが)「中重」(外玉垣と内玉垣との間の事)で行なはれる祭典が雨天時に使用するの「四丈殿」ですが現在の物と見くらべると、先人の人々が求めた「常苦」(常に新たに清浄であること、建物がいまだ使用可能であったも、老朽化することは、気枯れることであり、神様の御神力を衰えさせてしまうことを忌み嫌った)の思を深く感じてまいりました。

又、今いろいろな食物があり、旬という事もうすれてきているが、やはり春に食物の実りを願ひ、秋にその収穫を感謝する事は私たち日本人の基本的概念ではないでしょうか、日本人の主食はとうとうとお米ですが、ではなぜお米なのかというと、天照大神が天孫降臨の時、瓊々杵尊に下した三大神勅の「斎庭の稲穂の神勅」(我が子孫に高天原にある神々へ捧げる為の神聖な稲穂を作る田んぼで出来た種を与えますので、これを地上で育て主食として国民を養いなさい)を基に先人達が品種改良やさまざまな工夫を重ねて作付面積の収穫量を格段に良くなり、今ではお腹いっぱいにお米が食べられるようになりましたが、約四十年前はお米に麦や芋などをまぜてもお腹いっぱいにはなれませんでした。世界でも食量事情が悪く今現在八人に一人が飢餓に苦しんでいる状態です。今一度私たちの食生活を考えなおし、神様と先人たちの感謝を、より感じた参拝

お田植祭 抜穂祭

平成二十四年六月九日境内の御神田において、総代会を始め、外郭団体、崇敬者が集い「お田植祭」が斎行された。苗は敬神婦人会副会長の保坂祐子様が奉獻された。

抜穂祭(稲刈)は十月八日に斎行された。今年も平年並の収穫であった。本年は伊勢神宮神嘗祭に奉獻される水田に指定される米に浴した。



正月授与品案内

↑境内の三葉の松（金銭松）
にあやかる金運守
初穂料 八百円

←出雲大社とご縁のある神社しか受けられない出雲大社の「えんむすび」お守り
初穂料 千円

←開運を願う熊手
初穂料 千五百円

→平成二十五年「福」を得る熊手
初穂料 二千円



元日（正月）の意味

元日は大年神様を各家にお迎えする日です。神様は紙垂や門松が飾られている家の床の間に降臨いたします。七草まで家族と共食し、一年の平安を授けて下さいませ。
今年の正月送りは南関東（丙）です。意義あるお正月をお過ごし下さい。

新年の迎え方

正月飾りは十二月二十九日と三十一日を除いた日に神棚を始め、家の各々に飾りをつけ、新年を迎えましょう。御質問は神社にお尋ね下さい。

正月送りの仕方

正月飾りも一月七日七草には敷地内の恵方（南南東）の方位に送り（束ねる）、どうぞ焼きでお焚きあげしこの一年の安泰を祈りましょう。

新年祈願のご案内

平成二十五年癸巳年を迎え元日〇時より、新年祈願祭を斎行しております。家内安全・商売繁昌・厄除・合格祈願等随時行っております。
初穂料 五千円以上

平成二十五年厄年表（数え年）

男の厄年			
前厄	本厄	後厄	大厄は四十二歳
24歳 平成2年生	25歳 昭和64年生 平成元年	26歳 昭和63年生	60歳 昭和29年生
41歳 昭和48年生	42歳 昭和47年生	43歳 昭和46年生	61歳 昭和28年生
			62歳 昭和27年生

女の厄年			
前厄	本厄	後厄	大厄は三十三歳
18歳 平成8年生	19歳 平成7年生	20歳 平成6年生	36歳 昭和53年生
32歳 昭和57年生	33歳 昭和56年生	34歳 昭和55年生	37歳 昭和52年生
			38歳 昭和51年生

数え年とは、満年齢に誕生日前には二歳、誕生日後には一歳を加えた年です。

恵方参りのご案内

恵方参りとは、その年の天の恵みが満ち溢れている場所です。神聖な場所の神社にお参りし、神様の尊いご神縁を授かるお参りが、恵方参りとなります。今年の恵方は丙（南南東）です。

日程

平成二十五年二月十七日（日）
十八日（月）

会費 二一、五〇〇円

行程

24日	甲府各地 --- 富士五湖道・伊豆中央道 --- --浄蓮の滝-- 下田八幡神社（正式参拝）-- --みなみの桜と菜の花まつり--- 下田温泉
25日	下田温泉 --- 伊豆急下田駅----- --列車リゾート21で移動--- 伊豆高原駅 --- --伊豆高原ビル--- いろいろ海産（お買い物）-- --甲府各地

稲積神社

命継ぐ食もの衣もの住むいへも
稲荷の神の恵みなりけり
正ノ木稲荷大明神

甲府市太田町公園内鎮座
電話 (055) 233-5573
FAX (055) 226-0787

稲積神社 検索